

スタンダール『ロッシェニ伝』(パリ、1823 年[1824 年])

(水谷彰良コレクションより)

スタンダール『ロッシェニ伝 (*Vie de Rossini*)』が最初の重要なロッシェニ伝であることは、あらためて説明するまでもないだろう。その初版はタイトル頁に 1824 年と印刷されているが、ロッシェニのパリ初訪問に間に合うよう 1823 年 11 月に出版され、ロッシェニ文献の旧約聖書というべきポジションを得た。

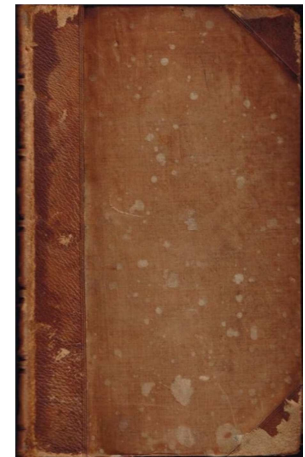
作者スタンダール (Stendhal [本名アンリ・ベール Henri Beyle], 1783-1842) はもともと劇作家志望であったが、17 歳でチマローザ《秘密の結婚》を聴いてイタリア・オペラの虜となり、1815 年に『ハイドン、モーツァルト、メタスタージオ伝』を自費出版して世に出た。1823 年刊の『ロッシェニ伝』は、天才作曲家ロッシェニの 31 歳までの半生と主な作品の特色を活写した秀作で、解釈の独自性においても特筆すべき伝記となっている。

初版はパリのオギュスト・ブラン社 (Chez Auguste Boulland et Cie) から刊行され、第 1 部にロッシェニの肖像、第 2 部にモーツァルトの肖像がそれぞれタイトル頁の左に掲げられている。

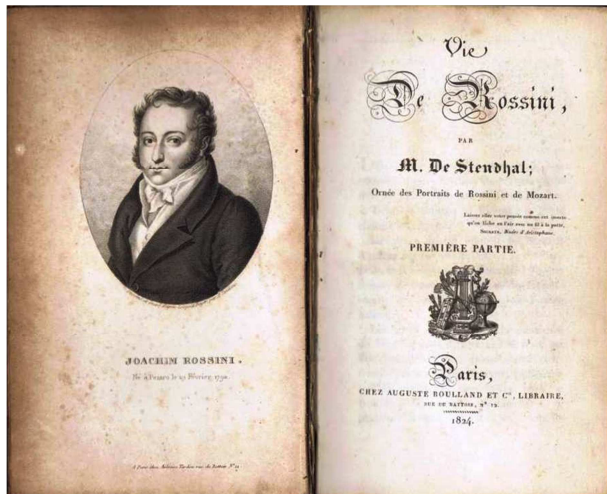
第 1 部のタイトル頁記載は次のとおり。

Vie / De Rossini, / PAR / M. DE Stendhal; / Ornée des portraits de Rossini et de Mozart. / Laissez aller votre pensée comme cet insecte / qu'on lâche en l'air avec un fil à la patte. / SOCRATE. Nuées d'Aristophane. [註: ソクラテスのエピグラム] / PREMIÈRE PARTIE. / Paris, / CHEZ AUGUSTE BOULLAND ET Cie, LIBRAIRE, / RUE DU BATTOIR, No. 12 / 1824. [VIII, 623p. 8°]

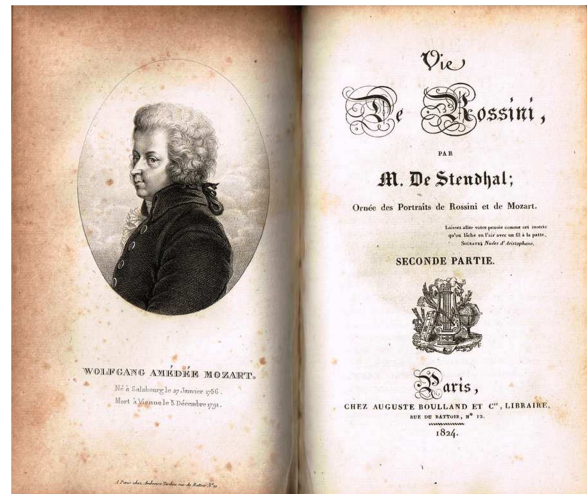
[Collezione privata di Akira Mizutani - Tokyo]



筆者所蔵初版本の外装



第 1 部のタイトル頁とロッシェニの肖像



第 2 部のタイトル頁とモーツァルトの肖像

ロッシェニ最初のパリ訪問に合わせて出版された『ロッシェニ伝』は直ちに人気を博し、翌 1824 年 1 月に不詳の翻訳者による英語版がロンドン、6 月にアマデウス・ヴェント訳のドイツ語版がライプツィヒで出版された。どちらも翻訳者による縮約や改変がある。

英語版のタイトル頁記載

MEMOIRS / OF / ROSSINI. / BY THE AUTHOR OF / THE LIVES OF HAYDN AND MOZART. / LONDON: / PRINTED FOR / T. HOOKHAM, OLD BOND STREET, / By J. and C. ADLARD, 23, Bartholomew Close. / 1824.

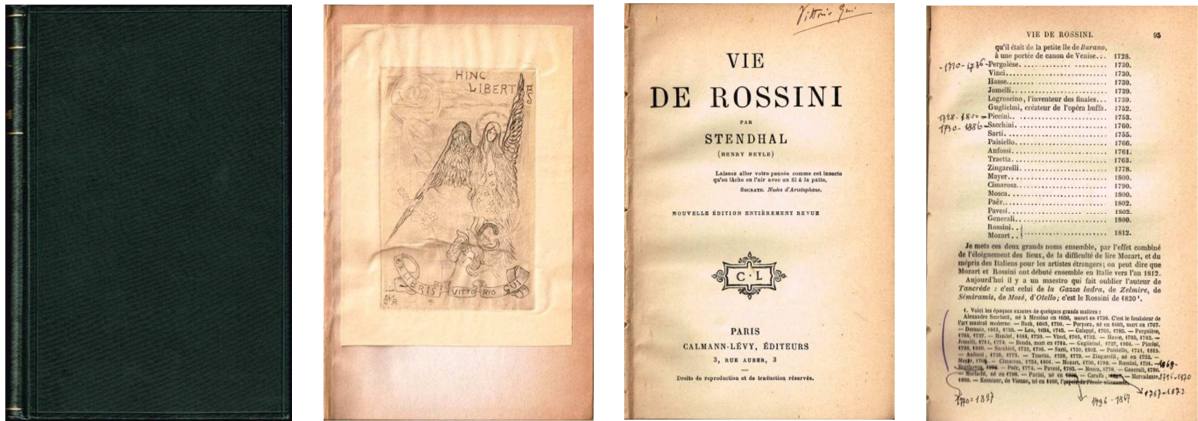
ドイツ語版のタイトル頁記載

Rossini's / Leben und Treiben, / vornehmlich / nach den Nachrichten des Herrn V.Stendhal / geschildert / und / mit
Urtheilen der Zeitgenossen über seinen / musikalischen Charakter begleitet / von / Amadeus Wendt. / Leipzig, 1824,
/ Verlag von Leopold Voß.

その後の 19 世紀エディションと、ヴィットーリオ・グイ旧蔵書

初版に続くオリジナル・フランス語版は、スタンダール没後の 1854 年にパリのミシェル=レヴィ兄弟社から改訂版として出版された (Paris, Michel-Lévy Frères, 1854 / 再版 1864.)。その後継出版社カルマン=レヴィは、ロッシーニ生誕 100 周年の 1892 年に新版を刊行している (Nouvelle éd. entièrement revue., Paris, Calmann-Lévy, 1892.)。

以上が 19 世紀の基本エディションである。筆者所蔵のカルマン=レヴィ版は著名な指揮者ヴィットーリオ・グイ (Vittorio Gui, 1885-1975) の旧蔵書で、蔵書票と自筆署名のほかグイによる訂正があるなど特別なアイテムとなっている。



ヴィットーリオ・グイ旧蔵書の外装、グイの蔵書票、自筆署名入りタイトル頁、グイによる生没年修正(筆者所蔵)

[Collezione privata di Akira Mizutani – Tokyo]

(水谷彰良。2014 年 1 月作成)